

鉄筋溶接技量検定試験における受験上の注意事項

公益社団法人日本鉄筋継手協会
鉄筋溶接技量検定委員会

鉄筋溶接技量検定試験会場でのご注意に関するご協力の依頼について、次の内容をご確認下さい。なお、検定試験会場にて、この内容を十分に理解された上で受験して頂きますようお願いいたします。

1. 安全上の注意事項と協力依頼

検定試験の最中に発症等の危険がある傷病については、医師の診断結果を考慮し、十分に注意して検定試験に臨むと共に、事前にその症状が改善されない場合は、無理に受験しないで下さい。なお、受験者及び補助者に感染症の疑いがある場合は、感染拡大防止の観点から受験を差し止める場合がありますのでご了承下さい。

また、実技試験会場での火傷、負傷及び傷病等については、個人の責任に帰するものですが、検定試験会場にての急な火傷、負傷及び傷病等の発症については、会場内のすべての者が相互扶助を行うようにして下さい。

2. 保護具の準備・着用についての注意事項

実技試験会場において、労働安全衛生規則及び粉じん障害防止規則に準拠した溶接用保護具を準備し、着用して下さい。

※防じん眼鏡： グラインダーでの研磨作業がある場合は、防じん眼鏡を用意して下さい。

※防じんマスク： 国家検定合格品マークのある呼吸用保護具を使用して下さい。

3. 行為・態度についての注意事項

- (1) 実技試験を行う各受験者ブース内には、受験者以外立ち入ることはできません。
- (2) 不正な行為や検定委員の注意や指示に従わない場合は、失格とします。

4. 検定試験を円滑に実施するためのお願い

- (1) 次の＜受験者が用意するもの＞は、すべて受験者が持参して下さい。

＜受験者が用意するもの＞

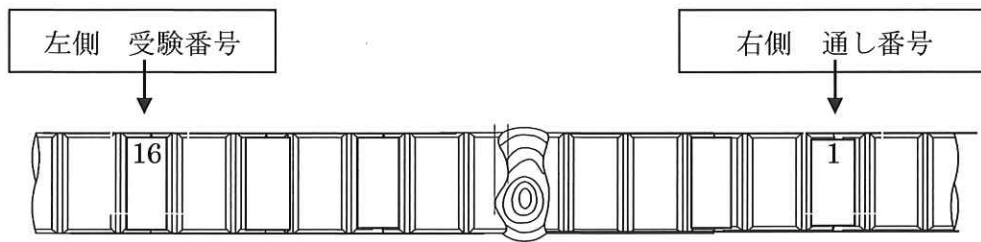
- 1) 半自動溶接装置一式
- 2) シールドガス一式
- 3) 電源供給設備（発電機等）

※関東会場（技術センター）は、電源供給設備があるので不要。

- 4) 検定試験に使用する「鉄筋」は、定められた長さに切断されているもので、規定の本数及び予備1本作製する分（試験材は、定められた長さで事前に端面処理を済ませたもの）
- 5) 受験する工法に合わせた「溶接ワイヤ」

- 6) 受験する工法に合わせた特殊治具等
- 7) 鉄筋を固定する治具
- (2) 実技試験会場に持込む試験に必要な治具及び鉄筋は、事前に整理しておき、実技試験会場内での準備作業時間を極力短縮して速やかに受験できる体制を整える。
- (3) 試験材を提出する際は、下図のように試験材の左側に受験番号、右側に通し番号を白ペン等で記入する。

＜溶接が完了した試験材の提出方法＞



- (4) 試験材本数の確認を受け、外観試験台に提出する。
- (5) 試験材の外観試験終了後、検定委員が指定する所定の場所に試験材を格納する。
- (6) 提出した試験材は、協会に帰属する。

20210222

以 上